

「脱炭素関連技術シーズ紹介セミナー」開催報告

ふくいオープンイノベーション推進機構では、「脱炭素関連技術」を重点支援分野のひとつに掲げ、県内企業、大学等が有する技術シーズをまとめた脱炭素関連技術シーズ集を公開しています。

今回、本シーズ集の技術を中心に県内大学・高専から脱炭素関連技術の研究紹介をおこなうとともに、脱炭素関連技術の動向として、カーボンニュートラルの流れを背景に再生可能エネルギーとして注目されている洋上風力発電についてご講演いただきました。また、県内金融機関から地域の脱炭素に向けた取り組み事例について情報提供いただきました。

1 日 時 令和8年3月5日(木)13:30~17:00

2 場 所 福井県工業技術センター 2階講堂

3 主 催 ふくいオープンイノベーション推進機構、公益財団法人ふくい産業支援センター

4 共 催 国立大学法人福井大学産学官連携本部、学校法人金井学園福井工業大学、
独立行政法人国立高等専門学校機構福井工業高等専門学校

5 参加者 40名

6 内 容

◇講演(13:35~14:35)

『浮体式洋上風力発電が拓く未来と国内産業の活性化に向けて』

大阪大学大学院工学研究科 地球総合工学専攻

洋上風車システムインテグレーション共同研究講座 特任教授 柴田 昌明 氏

◇県内大学・高専の研究紹介(14:45~16:15)

(1) 『降雪地域向け両面受光型太陽電池を用いた垂直架台と追尾架台』 (14:45~15:15)

福井大学 学術研究院 工学系部門 工学領域

電気・電子工学講座 教授 伊藤 雅一 氏

(2) 『SPS 装置を用いた直接通電による高効率焼結プロセス』 (15:15~15:45)

福井工業大学 工学部 機械工学科 教授 井藤 幹夫 氏

(3) 『光エネルギーを利用した環境に優しい合成法開発と付加価値の創製』(15:45~16:15)

福井工業高等専門学校 物質工学科 准教授

地域連携テクノセンター 副センター長 山脇 夢彦 氏

◇情報提供(16:15~16:30)

『地域の脱炭素化に向けた取り組みについて』

株式会社福井銀行 営業支援グループ

地域創生チーム サステナビリティ支援室 調査役 岩堀 文義 氏

◇名刺交換会(16:30~16:50)

◇まとめ

県内製造業、建設業、電力・エネルギー関連企業、大学、金融機関、試験研究機関など、幅広い分野から脱炭素に関心を持つ方々が参加されました。

最初に、2050年カーボンニュートラルに向けた浮体式洋上風力発電が拓く未来と国内産業の活性化についてご講演いただき、浮体式洋上風力発電に使用するブレードのサイズを抑えて発電効率を上げられないか、国内でブレードを製造できないか、といった質問がありました。国内生産が必要と声を上げ続けていくことによって市場拡大と共に国産化が実現するという見解とともに、浮体式洋上風力発電の拡大と国内産業活性化に対する期待の高さがうかがえました。

県内大学・高专からの研究紹介では、各分野の専門的な脱炭素関連技術シーズについて紹介していただき、続いて金融機関から地域の脱炭素に対する取り組みについて情報提供を受け、参加者には情報収集の場として本セミナーを有効に活用していただきました。

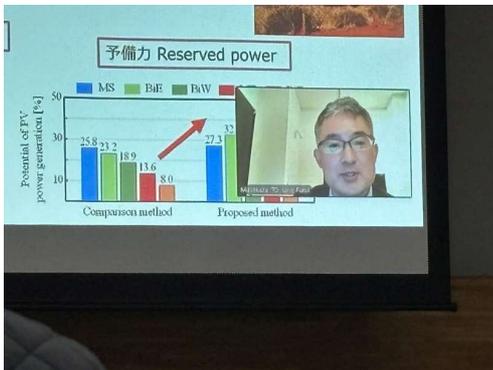
また、名刺交換会では参加者が講師の方々とは積極的に名刺交換をおこない、個別に質問するなど、今後に向けて活発に交流を図りました。



会場の様子



大阪大学 柴田氏



福井大学 伊藤氏



福井工業大学 井藤氏



福井高専 山脇氏



福井銀行 岩堀氏

問い合わせ先：(公財)ふくい産業支援センター オープンイノベーション推進部 兼岩、橋本、村上